

気候変動 適応対策事例紹介

(BCP・熱中症対策など)

～お客様に感動していただける企業をめざして～



総務経理部 兼 人事広報部

部長 小幡秀樹

会社概要

会社名	株式会社サイコー
所在地	仙台市宮城野区（岩切に2箇所、蒲生1箇所）
代表者	代表取締役 齋藤孝志
従業員	210名（2019年10月現在）
グループ企業	株式会社SKトレーディング 株式会社ステップスナイン



回収車輛



古紙リサイクルポイントシステム



仙台市四方よし企業大賞

適応事例（事業活動）

BCPの取り組み

B C P 取り組みのきっかけ

- 東日本大震災で蒲生地区の仙台港資源化センターが5 mの津波で被災
- 当時は緊急時対応マニュアルの整備なし、想像以上の被災状況、その都度対応策を検討せざるを得なかった
- 同じ場所で復旧することに不安を抱く社員もいるのではという懸念もあったが、この場所で復旧することが最善と判断。社員にも雇用を確保する約束を宣言、復旧を行った。
- その後、B C P 対策のマニュアルを策定、現在に至る

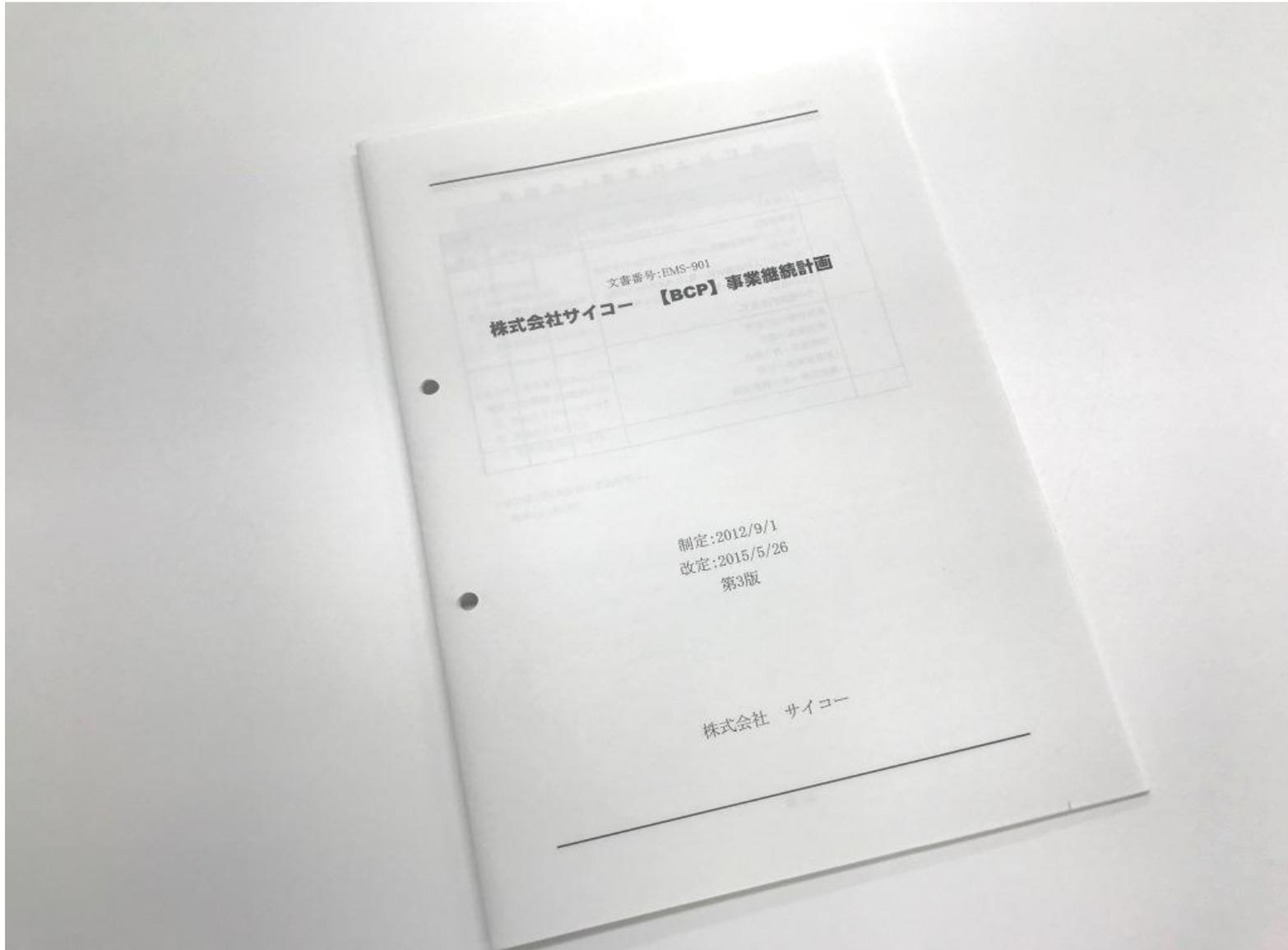
2011.3.13 仙台港資源化センターの被災状況



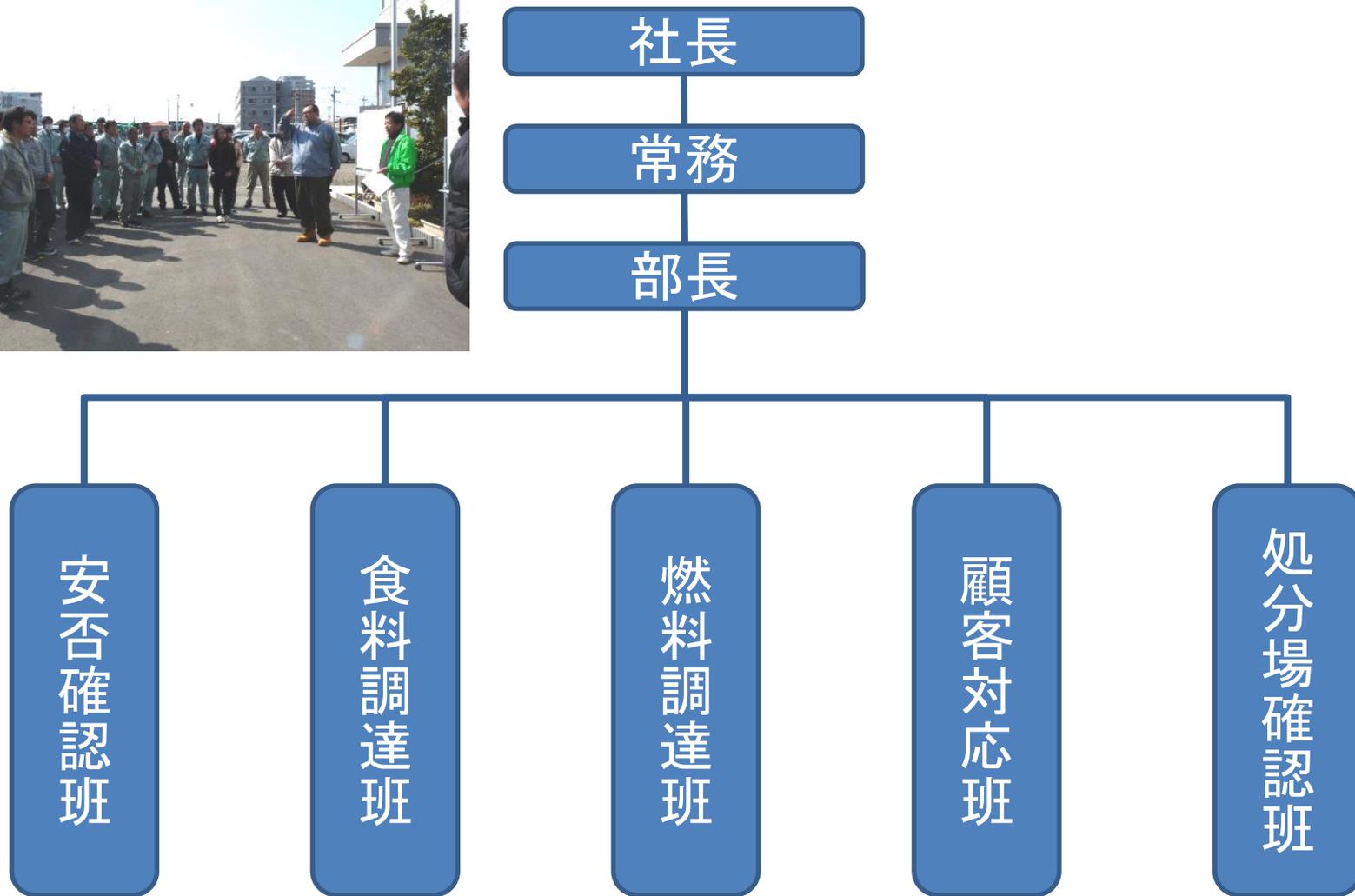
2011.3.13 仙台港資源化センターの被災状況



BCP（事業継続計画）の策定



災害対策本部



BCP事業継続計画概要



優先順位

1. 収集運搬業
2. 古紙梱包
3. 発泡スチロール処理
4. 空き缶処理
5. 機密書類破砕
6. 木くず破砕処理
7. 計量業務
8. 古紙選別
9. 本部機能(請求書、計算書発行、電話・メール対応、振込など)

仙台港資源化センター屋上に避難施設



水、食料などの備蓄



適応事例（事業活動）

他社との連携



同業者による災害対策ネットワーク 全国スマイル・プログラム推進協議会

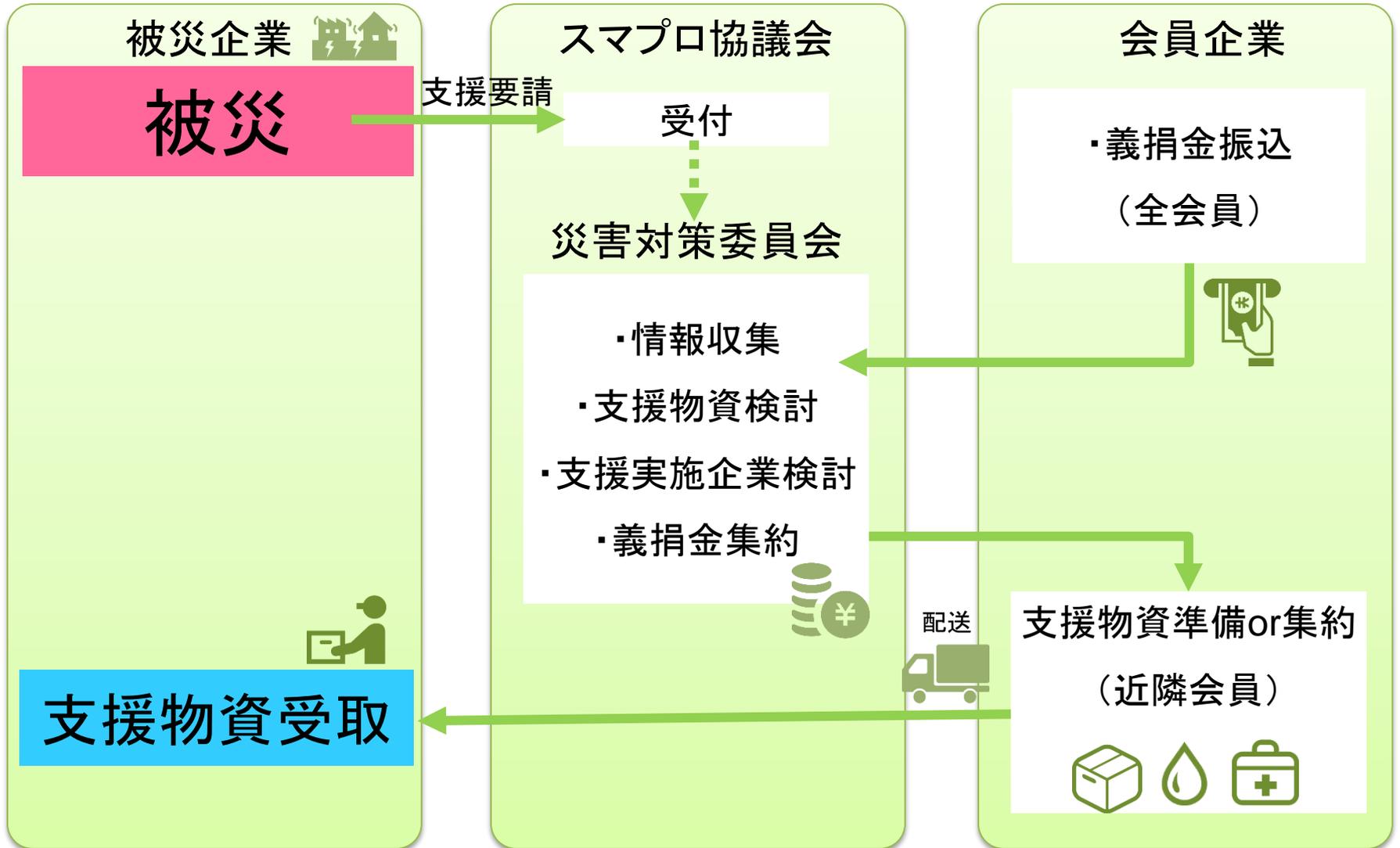
■ AED(自動体外式除細動器)の普及・拡大事業



■ 災害時廃棄物処理業務補完事業



災害対策に関するフロー



熊本地震（2016年）時に広島・新潟から飲料水の輸送



適応事例（健康）

熱中症対策

熱中症対策の経緯

■ 回収現場

- ・ 回収の現場は重量物を手で運ぶ業務が多く、夏場は体力と水分を消耗する。
- ・ かつてドライバーが回収中に熱中症になったが、家族に連絡先が分からず連絡できなかった苦い経験あり。



緊急連絡先および同居家族報告書

本人の基本情報（必須）
 （安否確認用メールアドレス含む）

緊急連絡先（原則2つ）

- ※同居家族がいる場合、必ず1名含める。
- ※同居家族以外の場合は、本人が知らせて欲しい人を記入。

同居家族（任意）

緊急連絡先および同居家族報告書

(必須)

社員名			
現住所	(〒 —)		
電話番号(自宅)		電話番号(携帯)	
携帯アドレス	持っている ・ 持っていない		
<small>(災害時の安否確認等に使用します)</small>	持っている場合、携帯から「system@kk-saikoh.co.jp」へ 氏名のみ入力 し送信して下さい		

「緊急連絡先1」

住所(任意)

氏名(必須)

電話番号(必須)

本人との関係(必須)

「緊急連絡先2」

住所(任意)

氏名(必須)

電話番号(必須)

本人との関係(必須)

- ※緊急連絡先は、原則2先記入する。
- ※同居家族がいる場合は、その同居家族を必ず記入すること。
 (ただし、中学生以下の子女のみが同居の場合は、対象外とする)
- ※同居家族以外の緊急連絡者は、身元保証人など社員の緊急事態を知らせて欲しい人を記入する。

2、同居家族(任意)

配偶者氏名		生年月日		続柄	
同居家族氏名		生年月日		続柄	
同居家族氏名		生年月日		続柄	
同居家族氏名		生年月日		続柄	
同居家族氏名		生年月日		続柄	
同居家族氏名		生年月日		続柄	
同居家族氏名		生年月日		続柄	

熱中症対策

- 熱中症予防講習の毎年開催
- 塩飴の配布
- 粉末ドリンクの配布
- 顔拭きシートの配布



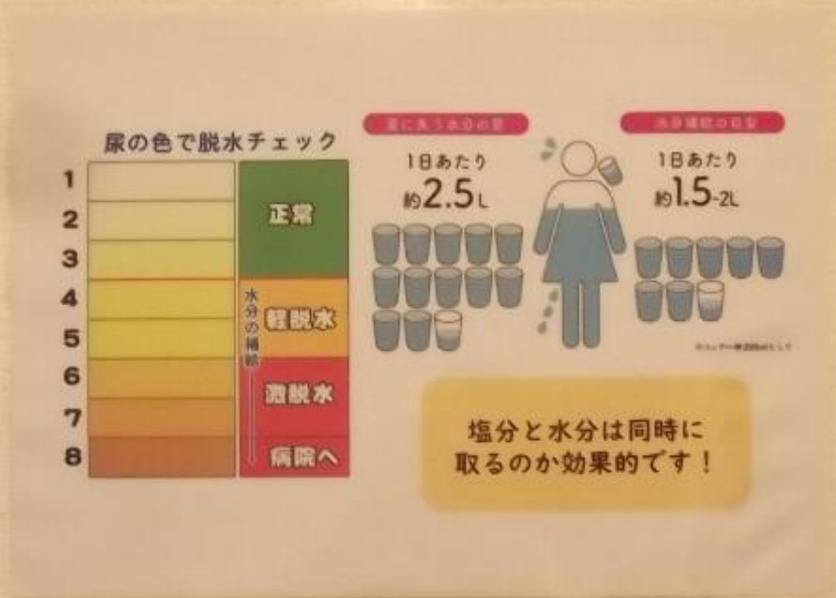
熱中症対策の経緯

■ 資源化センター

- 20代前半～70代後半までの幅広い年代の社員（障害者含む）が勤務する（パート社員17名の平均年齢68歳！最高年齢は79歳）
- 2箇所の資源化センターは日陰が少なく、屋根がある施設も熱がこもりがち
- 若い社員を中心に熱中症や体調不良が増え始める



トイレ 尿の色で脱水チェックで注意喚起



スポットクーラーやミスト発生機の導入



保冷剤入りベストの着用



夏バテ・熱中症予防



1時間に一度
の休憩、漬物
配布など



まとめ

- ① **社員の安心・安全・働きやすさを重視**
⇒働き手を含む「四方よし」にもつながる
- ② **企業単体で難しいことも連携で大きな力に**
⇒同業・地域との情報交換が効果あり
- ③ **日常的な啓発活動によるモチベーション維持**
⇒社員の工夫も活用しながら実践

ご清聴ありがとうございました！



地 球 に 対 し
サイコー
さし
い

ゴ-ゴ- サイコー
☎ 255-3150

